

# 令和5年 第5回 武豊町教育委員会 会議録

開催日 令和5年 5月11日(木)

場 所 武豊町役場 全員協議会室

出席委員の氏名

教 育 長	榊原 寛二				
教育長職務代理者	永田 淑子	委	員	堤田 綾子	
委 員	浅野俊太郎	委	員	小藤 省吾	

出席職員の氏名

教 育 部 長	近藤 昭子	学 校 教 育 課 長	森田 光一
生涯学習課長	伊藤誠一郎	ス ポ ー ツ 課 長	佐伯 広行
町民会館事務長	藤井 信介	歴史民俗資料館長	山下 恵広
中央公民館長	内田 大介	生涯学習課課長補佐	神谷 芳美
町民会館事務長補佐	栗田 宗広	スポーツ課課長補佐	石川 恭太
給食センター所長	青木 隆	学校教育課課長補佐	藤井 千絵
学校教育指導主事	神谷 俊輔	学校教育指導主事	小田島 健

：欠席者

## 1. 開会 午前9時30分

## 2. 開会宣言並びに第4回定例会 会議録の承認

(教育長) 出席委員4名を確認し、会議の成立及び第5回定例会の開会を宣言する。

(教育部長) 次に前回の会議録のご承認をお願いします。会議録につきましては事前にお渡ししておりますので、すでにご確認いただいていると思います。この会議録について、ご意見、ご質問等あればお願いします。

《意見なし》

(教育部長) 特にご意見等もないようですので、前回の会議録は承認とします。会議録への署名と押印は、この会議が終わりましたら、担当がお願いに行きますので、よろしくお願いします。

(教育部長) それでは教育長報告をお願いします。

## 3. 教育長報告

- 4月13日(木) ・定例教育委員会
- 4月15日(土) ・少年少女発明クラブ(年度最初)  
モデルロケット打ち上げ大会「大空杯」ロケット製作  
※雨天のため打ち上げは16日(日)に実施
- 4月18日(火) ・町学校運営研究会(教頭会議)  
・定例校長教委管理職会議

- 4月20日(木) ・保育園訪問
- 4月21日(金) ・定例民生委員・児童委員協議会
- 4月22日(土) ・吉町田湿地小中学生ボランティア開校式
- 4月27日(木) ・町教育課程研究会(教務主任会議)
- 5月9日(火) ・町家庭教育推進連絡協議会
- 5月10日(水) ・町交通少年団任命式
- 5月11日(木) ・定例教育委員会

(教育部長) 議事進行を教育長にお願いします。

#### 4. 議 事

(教育長) 最初は、議案第12号です。事務局お願いします。

#### 議案第12号 令和5年度 武豊町社会教育委員の委嘱について(案)

(生涯学習課長) 資料1について説明 (本年度、新たに5名を指名)

(教育長) 本案を承認される方は挙手をお願いします。

<全員挙手>

(教育長) 本案を承認可決することといたします。

(教育長) それでは議案13号についてお願いします。

#### 議案第13号 武豊町文化財保護委員の委嘱について(案)

(歴史民俗資料館長) 資料2について説明

(本年度2名が退任し、新たに1名を指名。残りの1名は適任者を探しており、見つけ次第委嘱予定。)

(教育委員) こういった委員に委嘱される方は、高い見識をもっている必要があるため、退任時になかなか次の後継の方が見つからないことも、予想されます。積極的な情報収集をしていただき、良い形で引継ぎがなされるようお願いいたします。

(教育長) それでは、本案を承認される方は挙手をお願いします。

<全員挙手>

(教育長) 本案を承認可決することといたします。

(教育長) それでは議案14号についてお願いします。

#### 議案第14号 令和4年度 武豊町図書館協議会委員の委嘱について(案)

(生涯学習課長) 資料3について説明(本年度1名の委員を新たに指名)

(教育長) 本案を承認される方は挙手をお願いします。

<全員挙手>

(教育長) 本案を承認可決することといたします。

(教育長) それでは議案15号についてお願いします。

#### 議案第15号 令和5年6月定例会 補正予算(案)について

(学校教育課課長補佐) 資料4について説明

歳出予算では、義務教育振興一般管理費、会計年度任用職員報酬について、217万円、会計年度任用職員期末手当について、28万9千円、会計年度任用職員の費用弁償について、11万3千円増額しております。

理由としましては、個別支援を必要とする児童2名と生徒1名に対して、特別支援員を配置するためであります。

また、いじめ不登校対策費、会計年度任用職員報酬について、72万3千円、会計年度任用職員期末手当について、11万3千円、会計年度任用職員費用弁償について、4万2千円増額しています。

理由としましては、小学校において不登校や、不登校傾向にある児童が増加していることから、校内教育支援センター指導員を1名増員するためであります。

(生涯学習課長)

中央公民館費、公民館管理費、修繕料について203万2千円増額しております。

理由としましては、空調設備、冷温水ポンプの漏電故障による取換修繕と、本館南駐車場の舗装補修を行うためであります。

(町民会館事務長補佐)

町民会館管理費、修繕料について89万1千円、増額補正しております。

理由としましては、ホール系の空調設備の冷温水発生器において、機密不良のエラーが発生しており、これを修繕するためであります。

(スポーツ課課長補佐)

社会体育施設指定管理料について、75万9千円増額補正しております。

理由としましては、総合体育館トレーニング室に設置しているランニングマシ

ン2台と階段昇降マシン1台が故障しており、これを入替更新するためであります。

(教育長) ご質問もないようですので、ご承認いただけますでしょうか。

(全員挙手で可決)

(教育長) 本案を承認可決することといたします。

(教育長) それでは議事を終了し、進行を教育部長にお願いします。

(教育部長) 報告事項に移ります。

## 5. 報告事項

### (1) 令和5年度 学校配当予算について

(学校教育課課長補佐) 資料5について説明

学校配当予算とは、主に児童生徒数や教職員数に応じて、各校に予算を配分し、学校の裁量で使用することができる予算です。この学校配当予算に関する説明会を、4月17日(月)にオンライン開催にて実施しました。

今年度も、予算の流用や執行残を極力少なくするため、当初予算要求前に学校への聞き取りや調整を行い、また実績を考慮した上で、配分を行っております。

### (2) 愛知を食べる学校給食の日について

(給食センター長) 資料6について説明

6月は食育月間です。その中でも、6月19日を「愛知を食べる学校給食の日」とし、武豊町や知多半島、愛知県でつくられた地元の食材を多く取り入れた給食を実施します。献立については、資料にある通りです。また、児童生徒へ配布するチラシには、武豊町特産の、みそやたくあんの紹介も掲載し、PRをしてまいります。

### (3) 第46回 公民館まつりについて

(生涯学習課長) 資料7について説明

5月20日、21日に、公民館まつりを開催いたします。昨年3年ぶりに、新型コロナウイルス感染症対策を十分に施した上で、実施をいたしました。今年度は、コロナ禍以前と同様とはいきませんが、飲食を伴う催し物も、一部行う予定です。

### (4) 令和5年度 福寿大学事業計画について

(生涯学習課長) 資料8の説明

全6回を予定しています。昨年度、福寿大学も3年ぶりに実施をいたしましたが、参加者は、コロナ禍以前と比べて少な目となりました。今年度は、老人会等を通じ、PRを進め、多くの方にご参加いただけるよう取り組んでまいります。

(5) 歴史民俗資料館 教科書展について

(歴史民俗資料館長) 資料9の説明

5月28日まで、歴史民俗資料館2階企画展示室にて、教科書展を開催しております。教科書の変遷だけでなく、町内小学校ができるまでの説明や、様々な教育にかかわる道具や副教材、若あゆ日記等も展示しております。

(6) 武豊町における生徒指導上の諸問題調査について

(指導主事) 資料10の説明

令和4年度の武豊町内小中学校における、暴力行為、いじめ、不登校の状況や対策を報告。不登校児童生徒、いじめ問題、暴力行為について、SC や SSW、教育支援センターと連携をしながら対応。

(7) 学校の近況について

(指導主事) 修学旅行等の宿泊行事の予定

各校の不登校児童生徒の様子 等

(8) 当面する行事予定について

(学校教育課課長補佐) 資料11について説明(5月～8月)

## 6. その他

(1) 町民会館より

(町民会館事務長補佐)

・ゆめプラ通信

(教育部長) それでは、教育委員さんからお気づきの点があればお願いします。

(教育委員)

- ・ 本日の新聞に、NHK『できるかな』に出演されていた、のっぼさんの記事がありました。「幼少時から手先が不器用で、小1の授業参観(絵の授業)で人を描こうとしたら、手足のバランスが悪く、イカのお化けと間違われた」というエピソードをもつそうです。そんな彼の自伝には、「『できるかな』という番組は、私自身の)不器用さゆえに番組が続いた。しゃべることは得意でないから、工作に真剣に取り組み、上手にできた時は本当にうれしくて笑った。表情で、楽しさを伝えた」と書かれているとのことでした。セリフがなくても表情やしぐさで、モノづくりの楽しさを視聴者に伝えるのっぼさんの姿がヒットして、番組が長く続いたのだということが、記事になっていました。
- ・ また、ある講演で、書家の金澤翔子さんのお話をお聞きしました。ダウン症の金澤さんが子どものとき、母親は彼女の将来を不安に思い、かなり思い詰めていたそうです。ただ、書道の先生でもあった母親にならい、書の基礎を幼少期に身に付けた結果、現在金澤さんは、書家として全国、世界を舞台に活躍するまでになったとのことでした。講演を聞き、金澤さん自身の人となりにつれる中で、こういった成果をあげるに至ったのは、単に彼女が長期にわたり訓練を重ね努力したというだけでなく、ダウン症という生

まれながらのハンディキャップをものともしない、素直さや純粹さ、明るさといった彼女の天性の素質を發揮して、日々の暮らしを送ってきたからなのではないか、と感じました。

- 2つの話に共通することは、さまざまな人がいる中で、他人と比べて劣る部分があったとしても、それとは別に、その人がもつよさをその人自身が見出し、自立につなげることができれば、素晴らしい生き方ができる、ということだと思います。
- 別の新聞記事では、コロナ禍による環境の急激な変化のせいか、勉強意欲のわからない小中高生が増加しているということが書かれていました。学習はもちろん、特別活動や学校行事等、様々な場面で、先生方には子どものよさを見つけていただきたいです。そのよさを、子どもたち自身に気付かせることで、その子の成長につなげていただければ、ありがたいと思います。

#### (教育委員)

- ゴールデンウィークが終わりました。朝晩の温度差があるこの時期は、体調を崩しやすく、健康管理が大変です。身体面だけでなく心の面でも、新年度のスタートから1カ月がたち、疲れが出てくると、長い休みとが重なり、バランスを保つのが難しい時期となります。先生方には慎重に子どもの様子を見取っていただくことが、必要になるのではないかなと思います。
- 長いお休みが終わるこの時期は、学校における子どもの様子だけでなく、家庭の保護者の様子も気になっています。保育士さんのお話では、長期休み明けに保護者の方が子どもを連れて登園した際に、いつもと違う疲れた表情をしている方がいるそうです。保護者に何かあったか尋ねると、「子どもと長時間いることがつらかった」という回答があるとも聞きました。長期の休みの過ごし方は、各家庭でさまざま違いがあるかと思えます。休み明けのちょっとした変化を捉えて状況を把握し、必要な家庭については支援をしていただきたいと思います。
- 同様に先生方も、疲れがたまる時期かと思えます。今後、学校では修学旅行やキャンプといった宿泊行事があり、楽しみにしている子どもも多いことでしょう。先生方にとっては大変な時期が続くかもしれませんが、気を張りつめすぎず、体と心の調子を整えて過ごせるとよいと思います。

#### (教育委員)

- 本日の報告の中に、生徒指導上の諸問題についてお話がありました。それに関連してヤングケアラーの問題について、お話しします。最近の若い方の傾向として、電話を使って連絡をすることは少ないのだそうです。子どもがヤングケアラーとなってしまう、困っている、助けてほしいとなったときに、本人から電話での相談、連絡を行うことは、なかなかハードルが高い状況が考えられます。それよりも、SNSを利用した、文字による連絡・相談手段を用意した方が、より気軽に相談できるのではないのでしょうか。時代や子どもの状況に合わせた、SOSの受け取り方を考えていただければと感じました。

- ・ もう一点、本日の報告を聞いて、ICTについて武豊町はかなり多くの予算をあてて取り組んでいることがわかりました。常々お話しさせていただいていますが、武豊町の教育環境は、本当に素晴らしいと感じています。この環境を生かし、真にICT機器を活用できる学校になるために必要なこととして、先生方がどれだけICT機器活用に対して熱量をもって取り組むかにかかっていると、報道等で耳にします。機器を使うのがあまり得意ではない先生にも積極的に活用をお願いし、学校全体で取り組んでいただきたいと思います。

**(教育委員)**

- ・ 4月入学から1カ月がたちました。小学校の新一年生は、本人も気づいていないかもしれませんが、大きなストレスがあるのではないかと考えます。そして、初めて子どもが小学校に登校するようになった、保護者にとっても、この1カ月はとても心配な日々であったと想像されます。自分の大切な子どもが、学校でどのような生活を送っているのか、きっと気にされていることでしょう。学校の先生方には、その様子について、できる限り発信していただくことを、お願いしたいです。その発信は、保護者の安心につながるとともに、学校に対する信頼、先生に対する信頼へとつながっていくと思います。保護者にとって、年度が始まったこの最初の時期は、学校はどういう場なのか、担任の先生はどういう人物なのか、それぞれに対する信頼を高める重要な時期になると考えます。教員の多忙化の問題もあり、なかなか時間をつくるのが難しいことは、十分承知しておりますが、今後の子どもや家庭との良好な関係構築のために、できる限りきめ細かい対応をしていただきたいと思います。保護者が「学校の先生は、きちんと自分の子どものことを見ている」と安心してもらえるような、情報発信をしていただければと思います。

**(教育部長)** ありがとうございます。以上をもちまして定例教育委員会を閉じます。

**(一同)** ありがとうございました。

令和5年 月 日  
署名

.....

.....

.....

.....

.....

作成者.....神谷 俊輔.....